

広報

やすらぎ

No.73 平成28年3月25日発行



窓越しに感謝のまなざし

沢内中学校1年生と2年生の生徒の皆さんが2月4日ぶなの園に來園し、雪あかりの灯籠や雪像を作ってくれました。入所している方々にとって毎年の冬の楽しみとなっており、楽しそうにワイワイ作業する生徒たちの姿を、窓越しに微笑みながら見つめておりました。雪像は男子チームと女子チームに分かれて、それぞれ今年の干支であるサルの顔を制作。趣きの異なる作品が仕上がりましたが、一言で表現するなら男子のサルは

真冬のあったたかい交流 沢内中雪像作りボランティア



とってもかわいい作品の完成です！

「ワイルド」、女子のサルは「プリーティー」。数え切れないほどの雪の灯籠は、スプレーでカラフルに仕上げてくれました。「中学校の子どもたちすごい！立派に作ってくれたなあ」と、入所されている刈田ミチ子さん。ほかの入所者の皆さんも、寒いなか頑張ってく



楽しそうに制作してくれました

れた生徒さんたちに心の中で感謝していたことでしょうか。本当にありがとうございました。



屋台は食欲そそられるなあ

スープあつあつ ラーメン屋台

3月15日、ぶなの園にラーメン屋台が登場しました。利用者の皆さんに、アツアツのスープでラーメンを味わっていただきたいという思いで企画したお昼のイベントです。メニューはみそ、しお、しょうゆの3種類。自分の好きな味を注文できるのはやっぱり楽しいですよ。どれも食べたくなって選べない方もおりましたが、そんな方には小さいお椀に全種類のスープを盛り、つけ麺で味わうという裏技を解禁。その衝動、よくわかりました。ラーメン屋台は大好評で、ぜひまた企画したいイベントです。ちなみに今回の一番人気はみそ味でした。

節分豆まき 熟年パワーで鬼を撃退

デイサービスセンターかたくりの園

かたくりの園の節分は、その年の年女、年男が「かみしも」を身に着け、先頭になって豆をまくのが恒例となっています。今年も対象者がいなくなったため、米寿の利用者様にお願いしました。1年の無病息災を願い、施設の北側から玄関に向かって「鬼は外!」。豆まきの後は、昔の節分の話しなどをしながら皆さんでおいしくいただきました。



みんなの声援を受けて「鬼は外」

特別養護老人ホームぶなの園

恵方巻きが節分の定番になったのはいつ頃からだっただけでしょう。2月3日ぶなの園の昼食にも、どっしり重い恵方巻きが登場しました。もちろん利用者の皆さんには食べやすい大きさにカットして出されましたが、それでも食べごたえ十分、パワーをしっかりと蓄えて午後の豆まきへ突入。力いっぱい豆を投げつけられ、鬼役の職員が悲鳴をあげておりました。



節分メニュー

まとめてかかっていたらしゃい!



おいすぎて言葉が出ない...

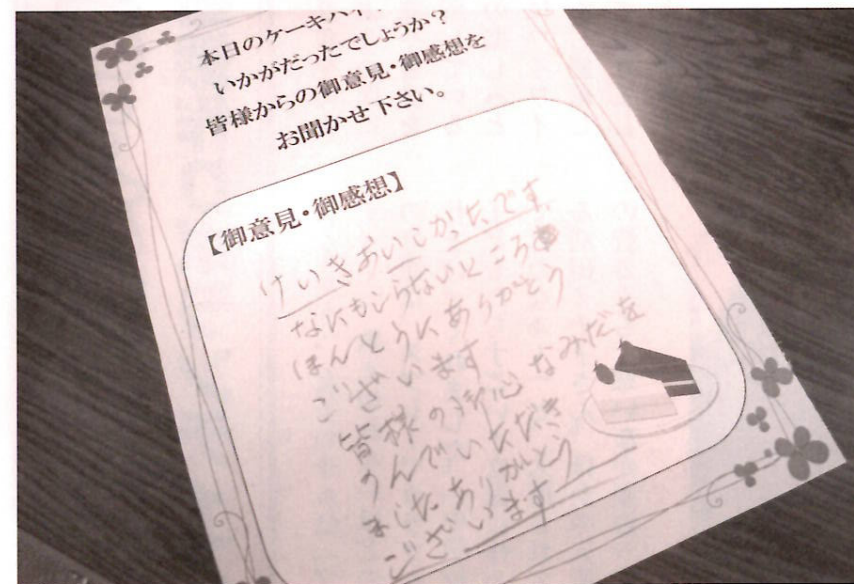
スイーツ好きにはたまらない ケーキバイキング

冷たい雪が舞う2月10日、ぶなの園は甘い香りに包まれました。楽しみにしていた「ケーキバイキング」の日です。ショートケーキ、チョコや抹茶のケーキ、ムースにプリン、そしておしるこ。ドリンクもジュースやコーヒール、甘酒など7種類から選び放題で、甘党にはたまらない景色です。好みのケーキを1つ取りじっくりと味わう方、お皿からはみ出るほどたくさん取って豪快にほおばる方など楽しみ方は様々。ただ、最初の一口をほおばった時の幸せそうな表情は皆さん共通でした。食後



甘い香りがただよってきます

にお願ひしたアンケートには「おいしかったです。涙をのんでいたかったです」という声も。喜んでいただくことができて、職員も幸せでした。



こんなありがたい感想をいただきました

意見交換で思いを共有 在宅サービス家族懇談会

ぶなの園のデイサービス及びホームヘルプサービスをご利用いただいている皆さんの家族懇談会が、2月22日にぶなの園にて開催されました。第一部では今年1月から開始されている「介護予防・

日常生活支援総合事業」について、西和賀町の担当職員より説明していただきました。第二部では認知症ケアに関するDVDを30分ほど観て、感想やご自宅での利用者の様子等について話し合いました。ご参加いただいたご家族からは「大変勉強になった」、「介護は大変だが、デイサービスを楽しみにしているようで助かる」など、ありがたい言葉を頂戴してあります。職員とご家族との懇談はもちろん、毎日家族の介護をされている方々が思いを共有したり意見交換をすることができ、大変有意義な時間となりました。



認知症についてDVDで学習

和賀川

42

施設長 平川 縫子

■「一億総活躍社会」この言葉を聴かない日がないくらいである。素直に取れば「高齢でも障害があってもすべての国民が活躍できる」という意味だろう。しかし待てよ、本当にそうだろうか。違う見方をすれば高齢でも障害を持っていても病気になるまでも死ぬまで働かなければならない世の中だということでもあるのだ。■「子供の貧困」、「年金の問題」、「生活保護受給者の増大」、「格差社会」、といったこの国はどこに向かっているのか、とたいいていの国民は不安に思っているのも事実ではないのか。■子供や若者の問題が、年長いた先にある老人の問題へと波及して行くのだ。高齢になっても、病気などで働けなくなっても安心して暮らせるような社会保障の充実が今求められるのではない。他人事ではない。誰もが高齢になるのだから。

あたたかい
善意
を頂戴し厚くお礼申しあげます

平成28年1月1日
～2月29日

【ご寄付】

・佐々木昭見様

【ご寄贈】

・石井敏明様

【ボランティア等】

- ・どれみの会様
- ・おはなしきらきら様
- ・湯田「ばあちゃんず」様
- ・岩手県立大学学生様
- ・佐々木エリ子様
- ・高橋夕美子様
- ・高橋加津子様
- ・高橋佑子様
- ・米澤洋子様
- ・佐々木勝子様
- ・高橋セツ様
- ・高橋昭士様
- ・高橋和子様

あしあと

法人の主な動き

【1月】

- 1日 元旦 おせち料理
- 4日 特養新年交賀会
- 5日 出張理容
- 7日 七草粥
- 13日 特養内部学習会
- 15日 小正月行事
- 16日 特養家族会新年会
- 20日 情報公表調査(西介)
- 25日 広報やすらぎ発行
- 26日 法人内部監査

【2月】

- 1日 課長会議
- 2日 出張理容
- 3日 恵方巻メニュー
- 4日 節分豆まき
- 6日 沢内中雪像制作
- 10日 雪あかり
- 15日 ケーキバイキング
- 18日 課長会議
- 22日 産業医健康講話
- 23日 在宅家族懇談会
- 23日 かたくり家族懇談会

photo プラス1 



ぶなの園にも三人官女
～桃の節句を楽しむ利用者の皆さん～

編集後記

あまりにも楽をさせてもらい、物足りない感じさえする今冬でした。雪あかりの日は特に穏やかで、遠方から足を運んでくださった方々に、余計な宣伝をしたくなってしまう。「本当の西和賀をお見せしますので、またどうぞ」

やすらぎ会報委員会

- 米澤大地 佐々木愛子
- 照井千春 加藤美代子
- 高橋 渉

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389